

神原 宏一郎の活動報告 2014年4月1日～6月30日 (抜粋) ※印は公務

日々の活動についての詳細は神原 宏一郎ホームページの日記をご覧ください!
http://www.geocities.jp/positive_square/diary.html

2014年4月

- 5日 上野連合自治会役員会
- 7日 豊中市立上野小学校・豊中市立11中学校入学式臨席
- 19日 うえの歩こう会
- 21日 奈良県宇陀市市議会議員選挙応援
- 22日 シェールメゾンポプラ千里園開所式
- 23日 関西若手議員の会総会・研修会
- 24日 空港問題調査特別委員会 ※
- 25日 農業委員会 ※
- 26日 市政報告会
- 27日 上野連合自治会総会・定例会
- 29日 上野園芸市

- 23日 憲法記念市民のつどい
- 25日 上野連合自治会定例会
- 27日 議会運営委員会 傍聴 ※
5月定例会 本会議 ※
- 29日 関西若手議員の会役員会・農業委員会 ※
- 30日 議会運営委員会 傍聴 ※
5月定例会 本会議 ※



2014年6月

- 5日 議会運営委員会 傍聴 ※
5月定例会 本会議 ※
- 6日 議会棟壁面緑化事業ゴーヤの苗付け
- 7日 上野連合自治会役員会
- 8日 議員交流会
- 10日 豊中市伊丹市クリーンランド勉強会
- 12日 豊中市私立幼稚園PTA 連合大会
- 16日 豊中市伊丹市クリーンランド議会 ※
- 21日 前向きひろばBBQ
- 25日 豊中市民生委員・児童委員大会



2014年5月

- 7日 市民ロビーゆうゆうコンサート
- 11日 憲法記念日市長表彰式臨席 ※
- 15日 議会運営委員会 傍聴 ※
- 17日 いきいき上野フェスティバル
- 22日 5月定例会 本会議 ※



収支報告

2014年4月～6月分

神原事務所 2014年4月～6月分

収入	
議員報酬等(注1)	¥1,978,200
期末手当(注2)	¥1,438,650
合計	¥3,416,850
支出	
会派会費	¥30,000
所得税	¥421,529
議員団費	¥9,525
事務所費用へ	¥900,000
供託金(注3)	¥238,125
生活費※	¥1,811,671
合計	¥3,410,850

収入	
前月繰越残高	¥2,051,344
神原宏一郎議員報酬より	¥900,000
その他(注4)	¥3,000
合計(1)	¥2,954,344
支出	
家屋費(イベント会場含)	¥220,800
光熱費	¥15,656
通信費	¥20,323
印刷費	¥92,700
備品費	¥0
消耗品費	¥11,136
交通費	¥0
人件費	¥479,000
その他(注5)	¥9,000
合計(2)	¥848,615
次月繰越(1)-(2)	¥2,105,729

(注1) クリーンランド議会報酬
農業委員会委員含む
(注2) 635,000×2.025×1.2
(注3) 役職加算分
(注4) イベント参加費・カンパ
(注5) 勉強会参加費など
※住民税・国保料など支払い分含む

夏季期末手当(ボーナス)について

所得税を控除して支給された金額は、
117万1575円。
 住民税、国民健康保険料、
 国民年金、供託金の支払いの
 一部として使いました。

(注) 住民税(84万6700円)・・・①
 国民健康保険料(67万円)・・・②
 国民年金(18万3000円)・・・③
 供託金(23万8125円)・・・④
 ①+②+③+④=193万7825円

サポーター・スポンサー大募集!!

議員報酬等の削減が続く中、徹底した経費削減を行い、むしろ議員活動の質や量の維持、向上に努めています。少しでもご支援、ご協力頂けると有難いです。

□座：ゆうちょ銀行
 □座名：前向きひろば
 記号：14180 番号：87302691



発行元 前向きひろば ~Positive Square~

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階
 TEL&FAX: 06-6854-5664

平日(祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

「つながり日記」毎日HPで更新中!!

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

豊中の未来を描こう!!

発行 2014年7月

VOL. 93

ワークライフ
 バランス
 実践中!!

神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



豊中市議会議員
 無所属・未来派

関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

◆あなたにとっての子育て支援策とは?～優先順位付けが難しい～◆

最近、同世代の方々を中心に子育て施策や教育関連施策に関するご意見やご要望を多数頂いています。特に多いご意見やご要望について、現状と私なりの考えをお示ししたいと思います。正直、どこまでを公共が担うべきなのか、公共施策とは何なのか、自問自答が続いています。

【保育所待機児童】

一昨年度41人、昨年度75人、そして今年度4月には**132人(内、1歳児73人、2歳児35人)**と増加中。市としても毎年、保育所認可定員を200人以上増やし続けています。しかし、小学校就学前人口(0歳～5歳)の増加や、女性の社会進出が進んでいること等から、保育所申込者数も毎年、大幅に増加しています。

【神原の考え】

子どもの数が増え続けていることは市にとって喜ばしいことです。ただ、保育所を新設するには数億円かかり、多額の維持管理費も必要です。待機児童の解消は、将来的な児童数の推移を見極め、民間保育所の定員増や私立・公立幼稚園の認定こども園化などの対応が現実的です。

【中学校給食】

豊中市では昨年度から順次、中学校給食を導入しています。中学校給食と言っても、従来のお弁当との併用で民間事業者のデリバリー方式を導入する形のため、全員喫食を求める声も少なくありません。

【神原の考え】

これまでも述べてきましたが、私はそもそも中学校給食に否定的です。その理由は、①子どもたちが中学校給食導入に否定的、②小学校給食の食べ残しが非常に多い、③新たに中学校給食センターなどの施設整備費や維持管理費は将来世代のツケや負担になるなどです。全員喫食型の中学校給食は保護者のニーズではなく、子どもたちのニーズがあれば導入を検討すれば良いと思います。

【乳幼児医療費助成制度】

豊中市では乳幼児医療費助成として、医療費(通院費は小学校就学前まで、入院費は小学校6年生まで)の自己負担分の一部を助成しています。乳幼児医療費助成費の総額は約6億9000万円で、**豊中市の負担は約5億円**ですが、近隣市に比べ、対象年齢が狭いとの声をししばし頂きます。

【神原の考え】

確かに対象年齢の拡充は喜ばしいことです。しかし、助成対象の拡大には新たに多額の税金(約6億円)の支出が必要となり財源をどう確保すべきか、誰が新たな負担をするかなど議論する必要があると私は思います。

【放課後こどもクラブ】

豊中市では現在、小学1年生から4年生(支援学級・支援学校に在籍する児童は6年生まで)、最長19時まで利用することができます。更なる学年の延長を求める声もありますが...

【神原の考え】

昨年度から対象学年が4年生まで引き上げられました。利用者にとっては喜ばしいことですが、事前のニーズ調査と比べると、実際の利用者数が少なく、一般財源の負担が当初見込みより大幅に増える事態が生じました。事業の費用対効果を考慮して、保護者ニーズへの対応が必要と考えます。

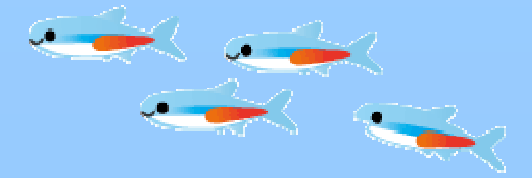
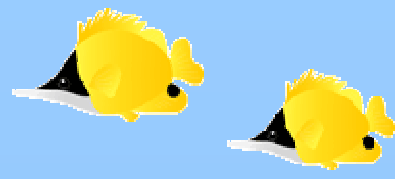
皆さまの優先度の高い施策をお聞かせ下さい。

young_spiritjp@yahoo.co.jp



◆7月臨時会代表質問予定◆

市長選挙が4月に行われたため、7月臨時会で本年度の本格予算案と市長の施政方針が示されます。それに併せて、私の所属する会派も様々なテーマに関して、質疑、提案、要望をする予定です。



①市有資産の建替え・修繕に係る費用について

豊中市は約**5885億円**の公共資産(土地・建物等の固定資産)を保有していますが、各施設の維持管理費や将来的な改修・更新費用はいくらかかるのでしょうか？

(神原の視点)

市有資産の維持管理費の総額、全て建替えをする場合の将来的な負担額を早急にかつ厳密に算出し、明らかにすべきです！！その上で、個々の市有資産を維持、廃止、統合、売却、賃貸などなど、今後の市有資産の保有計画を早急に経てるべきです！！

②新しい公共経営(自治体間の公共施設の共有)について

公共施設について、更新・統廃合・長寿命化計画の立案が求められているとともに、道路や上下水道などインフラ施設の更新に莫大な財源が必要な今日、個々の公共施設の保有、管理手法を改める必要があるのではないのでしょうか？公民館、スポーツ施設、図書館などの公共施設を全ての自治体が単独で保有する必要があるのでしょうか？

(神原の視点)

各自治体がそれぞれに公共施設を持つのではなく、自治体間で公共施設を分かち合う発想が必要ではないでしょうか！！官と民の連携は当たり前であり、これからは官と官の連携をもっと重視すべきです！！

③窓口業務の一元化及び民間委託について

池田市は今年度から市民の利便性を図るため、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の保険業務窓口を1か所に集約した専用の窓口を開設されました。さらに、保険への加入・脱退の手続きや給付申請などの窓口業務を民間委託されました。一方、広島県廿日市市では市民課の窓口を民間委託されました。

(神原の視点)

豊中市でも窓口の一元化や民間活力の導入により、手続きにかかる時間の短縮、効率的なサービスの提供など市民サービスの向上に努めるべきです！！

④選挙関連事務の民間委託について

投票事務や開票事務の多くは市の職員が担っているが、市職員が担う必要があるのでしょうか？手当の支給ではなく、代休を付与して、人件費の抑制を図るべきではないのでしょうか？

(神原の視点)

職員定数の削減が続く中、市職員は市職員でしか出来ない業務、市職員がすべき業務に特化して従事すべきです！！他市の事例も参考に人件費の抑制に尽力すべきです！！

⑤自動販売機の設置の誘致について

豊中市では、役所や市有施設の自販機の設置使用料を免除するケースがほとんどでしたが、自販機の設置を公募入札にして、現在、年間約**770万円**の収入を得ています。しかし、まだまだ改善の余地があるのではないのでしょうか？

(神原の視点)

未だに一部の団体に使用料免除で設置させていますが、早急に公募入札に切り替えるべきです！！事業者に対し、自販機の設置を積極的に許可し、公募入札により、歳入確保に努めるべきです！！

⑥将来負担に対する考え方について

豊中市では将来負担比率(将来負担すべき負債の標準財政規模に対する割合)を公表するとともに、将来世代へのツケが少なく健全な状況にあると強調しています。しかし、本当に将来の負担を表しているのでしょうか？将来負担の見通しがかなり甘いのではないのでしょうか？

(神原の視点)

将来負担比率は、既に発行した地方債が償還可能かどうか見ているだけで、既存のインフラ施設の更新、維持修繕に必要な費用は全く加味されていません。これらの費用負担も含めて将来負担と言うべきです！！

⑦真の少子化対策(晩婚化・晩産化の現状)について

若い世代の未婚率は2010年の時点で25～29歳の未婚率は男性が71.8%、女性が60.3%と上昇し、女性の第1子を出産した平均年齢は2012年で30.3歳です。豊中市の現状と課題認識は？

(神原の視点)

真の少子化対策には、結婚や出産時における職場や社会の理解、意識の変革、夫婦が共にワークライフバランスを図れる社会環境の充実を図る施策が必要です！！

単なるコストカットでは決してない！！

民間委託、費用対効果、合理性、効率性という言葉と並べると、しばしば「サービスの質の低下」、「安全性を軽視」などのご批判を頂きますが、私は何でもかんでも民間委託が良いとは思っていません。また、費用対効果とは費用だけで物事を判断すべきということではありません。しかしながら、どんな事業、施策を実施するにもお金が必要であり、新たな提案をするには、まず既存の歳入や歳出の見直しが不可欠と私は考えます。

支える世代(次世代)支援が必要不可欠！！

私は、子育て支援や若年層の支援が特に重要かつ必要と考えます。なぜなら、若い世代が将来に希望や安心感を抱き、活性化することは社会を支える基盤の安定化につながると考えるからです。その結果、支えられる世代(親世代・高齢世代)にとっても、安心感が増す社会となるはずで、だからこそ、徹底した歳出の見直しを図り、若い世代への予算配分の拡充が必要だと訴え続けているのです。



インフォメーション

豊中市議会 7月臨時会の予定

- ◆本会議(初日) 7月9日(水) 午後1時から
 - ◆本会議(代表質問・個人の質問) 午前10時から
7月18日(金)、22日(火)、23日(水)
 - ◆各常任委員会 午前10時から
7月28日(月)、29日(火)、
8月1日(金)、4日(月)、5日(火)
 - ◆本会議(最終日) 8月8日(火) 午後1時から
- ※変更する場合もございますので、議会事務局までご確認下さい。(議会事務局議事課:TEL:06-6858-2633)



明日への架け橋 (前向きサロン)

日時:7月26日(土)
午前10時～12時
場所:堀田会館2階第一料理教室
(阪急バス豊中高校前から徒歩5分)
参加費:無料
主催:前向きひろば
お問い合わせは 06-6854-5664 まで

今年度、神原は総務常任委員会委員、
豊中市伊丹市クリーンランド議会議員、
都市計画審議会委員に決定！！



参加者みんなで情報共有・意見交換など4年間の活動の振り返りを行いたいと思います。

